

LAN アクキュライザーの導入(4) —fidata HFAS1-S10 再生系—

1. 始めに

前報(1)の評価計画に従い、順次 LAN 経路について LAN アクキュライザーの効果を調べていきます。今回、fidata HFAS1-S10 再生系の LAN 経路について検討します。

2. LAN アクキュライザー-LACU-1 の試聴計画

今回は、スイッチングハブから fidata HFAS1-S10 への LAN ケーブルを対象とします。

現行のテレガートナー製の LAN ケーブルを LAN アクキュライザーに通そうとしましたが、テレガートナー製の LAN ケーブル端子は、スペースシャトル仕様でロックがはずれないように大型でしっかりしてものですから、LAN アクキュライザーに通りません。このようなことがあろうかと予め準備しておいた LAN ケーブルの中から選択した DELA 製の LAN ケーブルと交換し、付け外しの作業性からスイッチングハブの出力に近いところに寄せます。

なお、DELA 製の LAN ケーブルにはオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T を数か所巻き付けています。



音源は fidata HFAS1-S10 の Spotify Connect 再生とし、下記の経路で再生します。

fidata HFAS1-S10→【USB アクセラライザー】→Brooklyn DAC+

Spotify

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ

ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)

バッハ 無伴奏ソナタ・パルティータ

堀米ゆず子 (ヴァイオリン)

バッハ Aufs Lautenwerk

Alberto Crugnola (リュート)

ヴィヴァルディ チェロ協奏曲集

Harietto Krijgh (チェロ)

Candida Thompson 指揮 Amsterdam Synfonietta

3. LAN アクセラライザーLACU-1 の試聴結果

あらかじめ LAN アクセラライザーなしで聴いておき、LAN アクセラライザーを装着してから聴き直していきます。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタは、ハーンのヴァイオリンが滑らかになり、この曲の微妙なボウイングの表現が分かりやすくなります。

バッハの無伴奏ソナタ・パルティータは、堀米ゆず子のガルネリの音色がストレートではありますが、多少粗さがあつたものがより緻密になり、ボウイングの表情が聴き取りやすくなります。

バッハの Aufs Lautenwerk は、ピックや胴鳴りの余韻が豊かになります。

ヴィヴァルディのチェロ協奏曲集は、チェロの音が滑らかになり、バックのアンサンブルの響きが豊かになり、収録環境の間接音までよく出ています。

もともこの Spotify Connect の再生経路では、ストレートな表現でしたが、LAN アクセラライザーの装着は、上記のように音の精度をあげる効果があります。

ルーターからスイッチングハブの LAN 経路には、すでに LAN iSilencer がセットされており、スイッチングハブから fidata HFAS1-S10S の LAN ケーブルには電磁吸収テープを巻き付けていますが、LAN アクセラライザーは、かなり大きな上乘せ効果がありました。

4. まとめ

スイッチングハブから fidata HFAS1-S10 への LAN ケーブルへの LAN アクセラライザー装着は、Spotify Connect の再生でかなりの効果を認めました。

以上